

- 問1 鎌倉幕府の執権政治についてまとめた年表において、一二二一年に、ある人物が幕府を倒して朝廷の権力を取り戻そうとして起こした出来事が記されています。この戦いの名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 高知県公立入試 類似）
1. 応仁の乱
 2. 島原の乱
 3. 承久の乱
 4. 壬申の乱
- 問2 東大寺南大門には、運慶や快慶らによってわずか69日で制作されたとされる金剛力士像が安置されています。この像に見られるような、鎌倉時代の彫刻における表現上の工夫について説明したものととして正しいものはどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）
1. 仏の慈悲深さを伝えるため、穏やかな表情と曲線的な造形を重視した
 2. 左右対称の構図を厳格に守り、静寂の中に荘厳さを表現した
 3. 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した
 4. 金箔や宝石をふんだんに使い、極楽浄土の華やかさを再現した
- 問3 東大寺南大門の金剛力士像に代表される鎌倉時代の彫刻は、それ以前の平安時代の優美な作風とは大きく異なります。この時期の造形表現の背景や特徴について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
1. 新興の武士の気風を反映した、写実的で力強い表現となっている。
 2. 写実性よりも、仏教の神秘性を強調した抽象的な表現を重視している。
 3. 公家社会の好みを反映した、繊細で優雅な美しさを追求している。
 4. 禅宗の教えに基づいた、簡素で枯淡な美しさを表現している。
- 問4 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた戦いの結果、幕府が朝廷の監視と西日本の統治を強化するために京都に設置した機関はどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. 六波羅探題
 2. 侍所
 3. 鎌倉府
 4. 京都所司代
- 問5 鎌倉時代後半、元（モンゴル帝国）による二度の襲来に対し、執権の北条時宗を中心として御家人らが奮戦したものの、その後多くの御家人が生活難に陥りました。このとき幕府が、御家人の生活を救済するために出した、借金を帳消しにし売却した土地を無償で取り戻させる法令を何といいますか。（2017年 高知県公立入試 類似）
1. 武家諸法度
 2. 墾田永年私財法
 3. 徳政令
 4. 御成敗式目
- 問6 鎌倉時代、源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の荘園や公領ごとに配置した役職があります。土地の管理や年貢の徴収を主な任務とし、武士が地方の農村へ支配を広げるきっかけとなったこの役職は何ですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 地頭
 2. 六波羅探題
 3. 執権
 4. 守護
- 問7 鎌倉時代後半、元軍の襲来（元寇）において軍役を果たしたものの、十分な恩賞を得られず借金に苦しむようになった御家人を救うため、1297年に鎌倉幕府が出した、借金の帳消しや領地の無償返還を命じた法令を何といいますか。（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 治安維持法
 2. 異国船打払令
 3. 国家総動員法
 4. 徳政令
- 問8 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保障したり、手柄に対して新たな土地を与えたりする一方で、御家人が軍役や京都・鎌倉の警備といった義務を果たすことで成立していた主従関係を何といいますか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
1. 守護・地頭の設置
 2. 御恩と奉公
 3. 寄進地系荘園
 4. 封建社会の身分制
- 問9 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、一二三二年に制定した法令について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 高知県公立入試 類似）
1. 戦国大名が自分の領国内をより効率的に統治するために、独自に定めた「分国法」と呼ばれる法律の総称である。
 2. 武士の社会における慣習や道徳のもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。
 3. 元軍の侵攻のあと、恩賞を十分に得られず生活が困窮した御家人の借金を帳消しにするために制定された法律である。
 4. 朝廷の律令制度を完全に否定し、天皇や貴族にも幕府の支配を徹底させるために作られた全国統一の法典である。
- 問10 日本の歴史における出来事を時系列に並べた際、承久の乱（1221年）が終結し、その後、元の襲来（1274年）が始まるまでの期間に起こった出来事として正しいものはどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. 足利尊氏が、政治の基本方針を示すために建武式目を定めた。
 2. 北条泰時が、執権政治の安定を目指して御成敗式目（貞永式目）を定めた。
 3. 生活に困窮した御家人を救済するため、幕府が徳政令を出した。
 4. 源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉に幕府を開いた。
- 問11 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」という有名な一節で始まり、平氏一門の繁栄と滅亡を描いた軍記物語があります。この物語を、琵琶を弾きながら各地で語り歩き、広く民衆に伝えた人々の名称として正しいものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）
1. 時衆
 2. 連歌師
 3. 念仏聖
 4. 琵琶法師
- 問12 鎌倉幕府が「六波羅探題」という役職を設置した背景とその目的について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
1. 平氏を滅ぼした源頼朝が、京都の治安を維持し、天皇から征夷大將軍に任命されるのを待つため。
 2. 執権政治を確立した北条氏が、有力な御家人の不満を抑えるために幕府の財政管理を厳格化するため。
 3. 承久の乱に勝利した幕府が、朝廷を監視し、西日本における支配を強めるため。
 4. 元（モンゴル帝国）の襲来に備えて、九州地方の防衛を強化し、沿岸部の警備を固めるため。
- 問13 鎌倉時代の農業技術や制度について説明した資料において、当時の生産力を向上させた要因として説明される「二毛作」の内容として正しいものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 1つの大きな耕地を半分に分け、半分で稲作、もう半分で畑作を同時に行うこと。
 2. 同じ土地において、1年のうちに米とそれ以外の作物を組み合わせて2回栽培すること。
 3. 同じ作物を1年に2回、同じ田んぼで収穫できるように品種改良を行うこと。
 4. 2年間にわたって同じ土地を休ませ、土壌の肥沃さを回復させてから耕作を行うこと。
- 問14 1297年に鎌倉幕府が、土地の売買を禁止し、すでに売却された土地を本来の持ち主に無償で返却させるという内容の法令を出しました。元寇後の生活苦に陥った御家人を救済するために出されたこの法令の名称を答えなさい。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 慶安の御触書
 2. 武家諸法度
 3. 公事方御定書
 4. 永仁の徳政令

答え合わせ・解説

問1	答え 3 承久の乱	鎌倉幕府の三代将軍である源実朝が暗殺された後、幕府の実権は執権の北条氏が握っていました。これを朝廷の権力を回復する好機と捉えた後鳥羽上皇が、北条義時を討伐するよう命令を出したことでこの戦いが始まりました。結果は幕府側の勝利に終わり、朝廷の監視などを目的として京都に六波羅探題が置かれることとなりました。
問2	答え 3 浮き出た血管や躍動する筋肉を表現し、力強い写実性を追求した	運慶や快慶に代表される慶派の仏師たちは、それまでの伝統的な様式にとらわれず、解剖学的な正確さやダイナミックな動きを重視しました。金剛力士像では、怒りを見せる表情や強調された筋肉、血管の描写によって、武士が台頭した時代の力強さが表現されています。
問3	答え 1 新興の武士の気風を反映した、写実的で力強い表現となっている。	鎌倉時代の文化は、それまでの貴族中心の文化とは異なり、新たに政治の実権を握った武士の精神が色濃く反映されています。彫刻の分野では、運慶らが金剛力士像で見せたような、解剖学的な正確さや激しい動き、生命力あふれる写実的な表現が主流となりました。これに対し、繊細で優美な表現は平安時代の国風文化などの特徴であり、簡素で枯淡な美しさは室町時代の東山文化などに見られる特徴です。
問4	答え 1 六波羅探題	承久の乱で勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流し、朝廷の動きを厳しく監視するために六波羅探題を設置しました。これに加えて、朝廷側に味方した貴族や武士の領地を没収し、そこに東国の御家人を「地頭」として新たに任命したことで、幕府の支配力は西日本へも大きく広がることとなりました。
問5	答え 3 徳政令	元寇は外国からの防衛戦であったため、幕府は御家人に対して恩賞として与えるための新たな土地を得ることができませんでした。御家人は自費で戦場に赴いたため多額の借金を抱えることになり、幕府は彼らの没落を防ぐために土地の返還や借金の破棄を命じる法令を颁布しました。
問6	答え 1 地頭	源頼朝は1185年、平氏追討などを名目に、国ごとに置かれる「守護」と、荘園や公領ごとに置かれる「地頭」の設置を朝廷に認めさせました。地頭は現地の管理や年貢の徴収、警察の役割を担い、将軍から土地の支配権を保障される「御恩」を受ける代わりに、軍役などの「奉公」を行う御家人たちが任命されました。
問7	答え 4 徳政令	鎌倉幕府は、防衛戦であった元寇において新たな領地を獲得できなかったため、武士たちに十分な恩賞を与えることができませんでした。生活が困窮し、領地を質に入れたり売却したりする御家人が増えたため、幕府への忠誠心を維持し、軍役の基盤となる領地を保護する目的でこの法令が発令されました。
問8	答え 2 御恩と奉公	鎌倉幕府の体制を支えた基本的な主従関係を指します。将軍が御家人に与える土地に関連した恩恵を「御恩」、御家人が将軍に対して果たす軍役などの義務を「奉公」と呼び、土地を媒介として結びついていました。この関係が崩れることが、後の幕府滅亡の大きな要因となりました。
問9	答え 2 武士の社会における慣習や道徳をもとに、裁判の公平な基準を示すために制定された最初の武家独自の法律である。	承久の乱の結果、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地の地頭と荘園領主（公家や寺社）の間で土地をめぐる紛争が激増しました。北条泰時は、武士たちに理解しやすく、かつ公平な裁判の基準を設けるために「御成敗式目」を制定しました。これは律令（公家法）とは異なり、武士の社会で行われていた慣習や「道理」を基準とした点が画期的でした。
問10	答え 2 北条泰時が、執権政治の安定を目指して御成敗式目（貞永式目）を定めた。	御成敗式目が制定された1232年は、承久の乱によって幕府が朝廷を圧倒し、西日本の支配を強めた時期から約10年後にあたります。この法は元寇（1274年・1281年）よりも前の時代に出されており、鎌倉幕府の執権政治が充実していく過程で重要な役割を果たしました。
問11	答え 4 琵琶法師	鎌倉時代に成立した『平家物語』は、仏教的な無常観を背景に、平氏の興亡を描いた作品です。文字が読めない人々にも、琵琶の伴奏に合わせて物語を語る琵琶法師によって語り継がれたことで、広く普及しました。選択肢にある念仏聖は空也などが有名ですが、これは平安時代中期に浄土教を広めた人々を指します。
問12	答え 3 承久の乱に勝利した幕府が、朝廷を監視し、西日本における支配を強めるため。	承久の乱は、朝廷が幕府を倒そうとして失敗した事件です。これを受けて幕府は、二度と同じような反乱が起きないよう、京都に拠点置いて朝廷の動向を常に把握する仕組みを作りました。これが六波羅探題の設置であり、この機関を通じて幕府の権力は西日本へと大きく拡大することになりました。
問13	答え 2 同じ土地において、1年のうちに米とそれ以外の作物を組み合わせて2回栽培すること。	二毛作は、灌漑（かんがい）技術の向上によって土地の水分調節が可能になったことで広まりました。鎌倉時代には、主に夏の米の裏作として、冬に麦などが作られました。これによって土地を効率的に利用できるようになり、食料生産が大幅に増加しました。1年に2回同じ作物を育てることは「二期作」と呼び、二毛作とは区別されます。
問14	答え 4 永仁の徳政令	元寇（蒙古襲来）の際に、恩賞が十分に与えられなかったことで困窮した御家人を助けるために颁布されました。しかし、この法令により金銭の貸し借りが滞り、かえって御家人の生活が不安定になったほか、幕府の権威が低下する一因となりました。